

ABSTRACT

電極間で放電発光が行われる発光部、及びこの発光部の両側に設けられる封止部を有する発光管と、この発光管が挿入される挿入孔が形成される首状部、
5 及び、この首状部と一体形成され、発光部から放射された光束を一定方向に揃えて前方に射出する楕円曲面状の反射面を有する反射部を備えたリフレクタとを有する光源装置は、発光管には前方側略半分を覆う副反射鏡が設けられ、挿入孔は、光束射出方向基端から先端に向かうに従って、次第に径が大きくなり、挿入孔の反射面側の開口径は、副反射鏡の外径よりも大きく、かつ、リフレクタの前方側焦点位置と副反射鏡の外周面とにより定められる前記リフレクタの有効反射領域の径の内側とされている。

10